

【あなた（宛名のご本人）のことをおたずねします】

問1 あなたの性別をお選びください。（1つに○）

1. 男性 2. 女性

問2 あなたの年齢をご記入ください。

※平成25年11月1日現在の年齢でお答えください。

満（ ）歳 ※数字を記入してください

問3 あなたのお住まいは、どの特別出張所管内ですか。（1つに○）

※地域は封筒の宛名ラベルの右下に記載されています。

1. 四谷 5. 大久保 9. 柏木
2. 笹筒町 6. 戸塚 10. 角筈
3. 榎町 7. 落合第一
4. 若松町 8. 落合第二

問4 あなたの世帯の構成をお選びください。（1つに○）

※いわゆる二世帯住宅や同じ敷地内で別の棟に住んでいる場合は、同一世帯としてください。

1. 一人暮らし 2. 夫婦のみ 3. その他

問5 あなたは、収入のある仕事をしていますか。（1つに○）

1. している 2. していない →問6へ

→問5-1 <<問5で「1」と回答した方のみお答えください>>

何歳まで仕事をしたい（続けたい）ですか。（1つに○）

1. 60歳まで 4. 元気な間はずっと働きたい
2. 65歳くらいまで 5. 今すぐにでも辞めたい
3. 70歳くらいまで 6. わからない

（全員におたずねします。）

問6 あなたは、あなたの現在の暮らし向きをどのように感じていますか。（1つに○）

1. ゆとりがある 2. ややゆとりがある 3. やや苦しい 4. 苦しい

【健康状態などについておたずねします】

問11 あなたは、健康だと思いますか。(1つに○)

1. とても健康 2. まあまあ健康 3. あまり健康でない 4. 健康でない

問12 あなたは、現在治療中の病気がありますか。(1つに○)

1. ある 2. ない →問13へ

→問12-1 <<問12で「1」と回答した方のみお答えください>>

治療中の病気は、次のうちどれですか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|---------------------------|-------------------------|
| 1. 高血圧症 | 9. 関節の病気(リウマチ・変形性膝関節症等) |
| 2. 脂質異常症(高脂血症) | 10. 難病(パーキンソン病等) |
| 3. 糖尿病 | 11. 認知症 |
| 4. がん(悪性新生物) | 12. うつ病 |
| 5. 脳血管疾患(脳出血、脳梗塞、くも膜下出血等) | 13. うつ病以外の精神科疾患 |
| 6. 心臓病 | 14. その他 |
| 7. 腎臓病 | () |
| 8. 骨折・骨粗しょう症 | |

→問12-2 <<問12で「1」と回答した方のみお答えください>>

受診している医療機関は、次のうちどれですか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|------------------|---------------|
| 1. 診療所・クリニック(通院) | 3. 国公立病院、大学病院 |
| 2. 診療所・クリニック(往診) | 4. その他の病院 |

(全員におたずねします。)

問13 あなたには、継続的に診療を受けていたり、体調が悪いときなどに気軽に相談できる診療所の「かかりつけ医」がいますか。(1つに○)

1. いる 2. いない

問14 歯科についておたずねします。アからエまですべての質問にお答えください。
(それぞれ1つに○)

ア あなたは、1年以内に歯科を受診しましたか。	1. はい	2. いいえ
イ あなたは、治療や予防のために気軽に受診できる「かかりつけ歯科医」がいますか。	1. いる	2. いない
ウ あなたは、硬いものが食べにくいですか。	1. はい	2. いいえ
エ あなたは、要介護高齢者等を往診してくれる歯科医院があることをご存知ですか。	1. はい	2. いいえ

【日ごろの生活についておたずねします】

問15 あなたは、近所の方とどのようなお付き合いをしていますか。(1つに○)

- | |
|---|
| 1. お互いの家を行き来したり、一緒に出かけたりするなどのお付き合い
2. 日常的に立ち話をする程度のお付き合い
3. あいさつをする程度の最小限のお付き合い
4. お付き合いはしていない |
|---|

問16 あなたは、日々の暮らしの中で、地域のつながり（住民同士の助け合い・支え合いなど）は必要だと思いますか。(1つに○)

- | | |
|--------------------------------|----------------------------------|
| 1. 必要だと思う
2. どちらかといえば必要だと思う | 3. どちらかといえば必要ないと思う
4. 必要ないと思う |
|--------------------------------|----------------------------------|

【いきがいくくりや社会参加についておたずねします】

問17 あなたにとって、いきがいを感じるのは、どのようなことですか。
(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|---|---|
| 1. 職業・仕事
2. 町会・自治会・子ども会などの地域活動
3. ボランティア活動等
4. 趣味・スポーツ・習い事
5. 友人・仲間とすごすこと | 6. 家族との団らん
7. 孫や子どもの成長
8. 親の世話や介護
9. その他 ()
10. 特にない |
|---|---|

問18 あなたは、現在、地域活動（町会、自治会、子ども会など、以下同様）やボランティア活動等をしていますか。（1つに○）

1. 現在、継続的にしている
2. 時々している
3. 以前したことがあるが、現在はほとんどしていない
4. したことはない

問19 あなたが興味のある地域活動やボランティア活動等（実際に取り組んでいるものも含む）は、次のうちどれですか。（あてはまるものすべてに○）

1. 子どもの育成に関する活動
2. 一人暮らしや介護が必要な高齢者を支援する活動
3. 障害や病気の人を支援する活動
4. 交通安全や犯罪防止、災害時の救援・支援など地域の安全を守る活動
5. 地域の伝統や文化を伝える活動
6. 地域の環境美化に関する活動
7. 近隣の外国人との交流やホームステイの受け入れなど、国際交流・協力に関する活動
8. その他（ ）
9. 特に興味のある活動はない

問20 あなたは、今後、地域活動やボランティア活動等をしてみたいですか。（1つに○）

1. してみたい
2. どちらかといえばしてみたい
3. どちらかといえばしたくない
4. したくない

問21 あなたは、どのような形であれば、地域活動やボランティア活動等に参加しやすいと思いますか。（あてはまるものすべてに○）

1. 身近な場所で行われている
2. 一緒に活動する仲間がいる
3. 自分の資格や趣味等が活かせる
4. 活動団体から呼びかけがある
5. 金銭的な負担が小さい
6. 1回限りなど、日程の調整がしやすい
7. 気軽に参加できる
8. その他（ ）
9. わからない

【若年性認知症についておたずねします】

※若年性認知症

65歳未満で発症する認知症を指します。

高齢期に発症する認知症も65歳未満で発症する認知症も病的な違いはありません。

(原因になる疾患)

アルツハイマー病、脳血管疾患、頭部外傷後遺症、前頭側頭葉変性症等

(症 状)

意欲低下や抑うつ状態、性格変化、行動様式の変化等

年齢的に若いことから、うつ病やストレスなどといった他の病気と誤解されてしまい、なかなか診断がつかない場合も少なくありません。また、働き盛りに発症するため、治療や介護の期間が長期に渡り、本人や家族の経済面や心理面等における負担は大きいといえます。

(医 療)

若年性認知症の診断・治療を行うには、神経内科や精神科医、もの忘れ外来など、専門医療機関を受診することが必要です。

問22 あなたは「若年性認知症」という病気をご存じですか。(1つに○)

1. 知っている 2. 言葉は聞いたことがある→問23へ 3. 知らない→問23へ

問22-1 <<問22で「1」と回答した方のみお答えください>>

「若年性認知症」を何でお知りになりましたか。(あてはまるものすべてに○)

1. テレビや新聞、雑誌などを通じて知った
2. 家族、知人・友人などを通じて知った
3. 区の広報などを通じて知った
4. 病院・診療所や薬局のチラシ、ポスター等を通じて知った
5. 身近な家族、親戚などが発症したことで知った
6. その他 ()

(全員におたずねします。)

問23 あなたが、物忘れや理解・判断力の低下、そのことによる仕事上のトラブルなど気になる症状があった時、どこに相談しようと思いますか。

(あてはまるものすべてに○)

1. 診療所のかかりつけ医
2. 病院の内科、神経内科、精神科など
3. もの忘れ外来など認知症の専門外来がある病院
4. 精神科・神経科専門の病院・診療所
5. 認知症疾患医療センター (※)
6. 保健所・保健センター
7. 高齢者総合相談センター
8. その他 ()
9. わからない

※認知症疾患医療センター

認知症に関する専門医療相談等を実施するとともに、地域の保健医療・介護関係者等との連携推進を行い、認知症の人が地域で安心して生活できるよう支援を行っています。

問24 あなたは、若年性認知症の支援には何が必要だと思いますか。

(あてはまるものすべてに○)

1. 若年性認知症という病気や早期発見・早期対応の重要性を正しく理解するための普及啓発
2. 若年性認知症を診てくれる専門医療機関情報
3. 身近な場所で気軽に相談できる相談窓口
4. 家族や介護者同士が気軽に情報交換などができる場
5. 就労支援
6. 日中活動できる場
7. その他 ()
8. わからない

【権利擁護についておたずねします】

問25 あなたは、認知症、知的障害、精神障害などにより、判断能力が十分でない人の権利を守る、「成年後見制度(※)」をご存じですか。(1つに○)

1. 知っている
2. 名称は聞いたことがある
3. 知らない

※成年後見制度

認知症、知的障害、精神障害などにより、判断能力が十分でない人の権利を守る制度です。具体的には、成年後見人などがこうした人の意思を尊重し、その人らしい生活を守るため、法律面や生活面で支援するしくみです。

具体的には次のような支援があります

- ・介護保険サービスや医療を受ける際の手続きの支援
- ・預貯金の引き出しなど日常生活における金銭管理等の支援
- ・財産管理の支援

問26 あなたは、判断能力が十分でなくなってきた場合に、「成年後見制度」を利用したいですか。(1つに○)

1. 利用したい→問27へ 2. 利用したくない 3. わからない→問27へ

→ 問26-1 ≪問26で「2」と回答した方のみお答えください≫

利用したくない理由は、次のうちどれですか。(あてはまるものすべてに○)

1. 利用することによる利益・不利益がわからないから
2. 手続きや利用の方法がわからないから
3. 手続きが面倒だから
4. 後見人に守ってもらうほどの財産はないから
5. 知らない人に後見人になってほしくないから
6. 家族がいるから
7. その他 ()

(全員におたずねします。)

区では、成年後見制度の身近な相談窓口として新宿区社会福祉協議会の中に「新宿区成年後見センター(※)」を設置しています。

問27 あなたは、「新宿区成年後見センター」をご存じですか。(1つに○)

1. 名称も、何をする機関かも知っている 3. 知らない
2. 名称は聞いたことがある

※成年後見センター

専門家の協力のもと、成年後見制度の説明や申し立て手続きのお手伝い、後見活動の相談やその活動の支援を行っています。

【介護や医療が必要になった時のことについておたずねします】

問28 あなたは、介護が必要になった場合、どこで生活を続けたいと思いますか。
(1つに○)

1. 可能な限り自宅で生活を続けたい
2. 施設（特別養護老人ホームなど）へ入居したい
3. 介護、見守りや食事の提供などがついている高齢者専用の住居（有料老人ホーム、ケア付き賃貸住宅など）に入居したい
4. その他（)

問29 「在宅療養（※）」についておたずねします。長期の療養が必要になった場合、あなたは、自宅で療養を続けたいですか。(1つに○)

1. 続けたい
2. 続けたくない
3. わからない

※在宅療養

在宅で訪問診療などの医療や看護、介護のサービスを受けながら生活することです。

問30 介護や医療が必要になっても、在宅で暮らし続けるために、あなたが特に重要だと思うものは何ですか。(あてはまるもの3つに○)

1. 介護してくれる家族等
2. 安心して住み続けられる住まい
3. 往診してくれる医療機関
4. いつでも訪問して身の回りの世話をしてくれるサービス
5. 必要な時に宿泊できる施設
6. 体の状態を維持改善できるサービス
7. 気軽に立ち寄って話や相談ができる場所
8. 見守りや手助けをしてくれる人
9. 食事や日用品などの宅配サービス
10. 安否状態を誰かに知らせてくれる仕組み
11. 介護者の負担を軽くする仕組み
12. その他（)
13. 特にない

【看取りについておたずねします】

問31 あなたは、ご自身で判断できなくなったときの医療や介護を、どのようにしたいですか。(1つに○)

1. 事前に決めておきたい
2. その時になったら、家族等介護者に決めてほしい
3. その時になったら、医師などの医療職に決めてほしい
4. その時になったら、家族等介護者と医療職が相談して決めてほしい
5. わからない

問32 あなたは、ご自身の最期をどこで迎えたいと思いますか。(1つに○)

1. 自宅
2. 特別養護老人ホームなどの福祉施設
3. 病院などの医療機関
4. その他 ()
5. わからない

【緩和医療・ケアについておたずねします】

問33 あなたは、がんの「緩和医療・ケア(※)」について、ご存じですか。(1つに○)

1. 知っている
2. 名称は聞いたことがある
3. 知らない

※緩和医療・ケア

患者さんの価値観や生き方を十分に尊重した最善の医療やケアのことで、がんの治療に伴う体、心、生活のつらさなど、さまざまな「つらさ」を抱えた患者さんとその家族を総合的に支える医療・ケアと言えます。

問34 あなたは、がんで、病状の回復の見込みがない場合、「緩和医療・ケア」を受けたいですか。(1つに○)

1. 受けたい
2. 受けたくない
3. わからない

問35 あなたは、さらに高齢になり、がん以外の病気で、病状の回復の見込みがない場合、症状の緩和を主とした医療・ケアを受けたいですか。(1つに○)

1. 受けたい
2. 受けたくない
3. わからない

【健康・福祉サービスの情報や相談窓口についておたずねします】

区では、高齢者を総合的にサポートする身近な相談機関として、区内各地域に「高齢者総合相談センター」を設置しています。

問38 あなたは、「高齢者総合相談センター」の名称をご存じですか。(1つに○)

- | | |
|----------|---------|
| 1. 知っている | 2. 知らない |
|----------|---------|

問39 あなたは、「高齢者総合相談センター」の役割や機能について、どのようなことをご存知ですか。(あてはまるものすべてに○)

- | |
|-----------------------------------|
| 1. 高齢者の総合的な相談をおこなっている |
| 2. 認知症に関する生活相談や財産管理の相談をおこなっている |
| 3. 成年後見制度の周知活動をおこなっている |
| 4. 高齢者虐待の早期発見や対応をしている |
| 5. 悪質な訪問販売・電話勧誘などの被害相談をおこなっている |
| 6. 地域のネットワークを活用し、高齢者の実態把握をおこなっている |
| 7. その他 () |
| 8. まったく知らない |

問40 あなたは、あなたのお住まいの地域を担当する「高齢者総合相談センター」がどこにあるかご存じですか。(1つに○)

- | | |
|----------|---------|
| 1. 知っている | 2. 知らない |
|----------|---------|

「ご相談くだサイ」は、新宿区の形をヒントにした高齢者総合相談センターのイメージキャラクターです。



ご相談くだサイ

問41 あなたは日ごろ、健康や福祉サービスに関する情報をどのような手段で入手していますか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|---------------|--------------------------|
| 1. 家族や親戚 | 8. ケアマネジャー |
| 2. 友人・知人、近所の人 | 9. 高齢者総合相談センター |
| 3. 民生委員・児童委員 | 10. 区の広報紙 |
| 4. 区役所、特別出張所 | 11. インターネット (区のホームページなど) |
| 5. 保健所・保健センター | 12. その他 () |
| 6. 区民健康センター | 13. 特に入手していない |
| 7. 診療所・病院 | |

問42 あなたの入手している健康や福祉サービスに関する情報量は足りていると思いますか。(1つに○)

- | | |
|--------------|-------------|
| 1. 足りている | 3. やや不足している |
| 2. おおむね足りている | 4. 不足している |

問43 あなたに介護が必要になった場合、どのような相談体制を望みますか。
(あてはまるものすべてに○)

- | |
|---------------------------|
| 1. 保健所・保健センターの相談窓口で相談したい |
| 2. 高齢者総合相談センターの相談窓口で相談したい |
| 3. 自宅を訪問して相談にのってほしい |
| 4. 電話で気軽に相談できるようにしてほしい |
| 5. 電子メールやインターネットを通じて相談したい |
| 6. その他 () |
| 7. 特にない |

問44 最後に、高齢者の保健と福祉に関する施策や介護保険について、区へのご要望・ご意見がありましたらご自由にお書きください。

～ ご協力ありがとうございました ～
ご記入が済みましたら同封の返信用封筒(切手不要)で、
12月6日(金)までにご投函ください。
ご不明な点がありましたら、お手数ですが、表紙の問い合わせ先にお電話を
お願いいたします。